

未来に向かって、自ら羽ばたく北っ子！

～考え動く 人とつながる 未来を創る～

北小では令和6年度から図書室整備を進め、さらに、令和7年度からは読書タイムを設け、子ども達が本に親しむ機会を増やす取り組みを進めています。一冊の本との出会いが、新しい世界を知ることのきっかけとなり、子ども達の心を豊かに育んでくれると考えています。

図書室と読書について尋ねてみました！

◆新しくなった図書室は前の図書室と比べて好きですか？



■ 好き ■ どちらかというとき ■ どちらかというときらい ■ きらい

- ・ヨギボーやカードゲームがあって、くつろげるようになったから
- ・前よりも本が読みやすくなった
- ・とても居心地がいいから
- ・友だちと話ができるから
- △前の図書室の方が好きだから
- △前よりはよくなったけど、暴れる人がいるから

◆あなたは1週間にどれくらい図書室を利用しましたか？



■ 3回以上 ■ 2回以上 ■ 1回以上 ■ ほとんど利用なし

◆あなたは本を読むのが好きですか？



■ 好き ■ どちらかというとき ■ どちらかというときらい ■ きらい

6年生で肯定的に答えた割合は、令和7年度の52%から、令和8年度には83.3%へと大幅にアップしています。日頃の「読書タイム」などを通じて、日常的に本を開く習慣が、子どもたちの「本って面白い！」という気持ちをしっかりと育てているようです。

◆これからの図書室に向けて

みんなが大好きな図書室になった一方で、子どもたちからは「前よりはよくなったけれど、ときどき暴れる人がいる」という、少し心配な声も寄せられました。図書室は、みんなで使う大切な場所です。これからは、「誰もが気持ちよく、安心して静かに過ごせるためのマナー」を子どもたちと一緒に考え、みんなで守っていけるように育ててまいります。

普段忙しい日々を送る子どもたちにとって、本を開く時間は、新しい世界を知り、心を豊かにしてくれる特別なひとときです。2学期もボランティアさんにご協力いただき、毎週金曜日の図書室解放を続ける予定です。保護者・地域の皆様も、ぜひ、子ども達と一緒に図書室で楽しいひと時を過ごしていただければと思います。

◆新しい図書室が「みんなの大好きな居場所」に！

新しくなった図書室について尋ねたところ、なんと約92%の子どもたちが肯定的に答えてくれました。

子どもたちからは、「ヨギボーやカードゲームがあって、くつろげるようになった」「とても居心地がいい」「友達とお話ができる」といった嬉しい声がたくさん届いています。本を読む場所としてはもちろん、子どもたちにとって「学校の中でホッと安心できる、大好きな居場所」へと生まれ変わっていることが分かります。図書室に足を運ぶ子がぐっと増えました。

◆1週間に図書室を利用する回数を、整備前の令和6年度と比べてみました。

すると、「週に3回以上利用する」子が13.1%から26.4%へと、なんと約2倍に増加しました。一方で、「ほとんど利用しない」と答えた子は33.3%から13.2%へと大きく減少しています。環境を新しく整えたことで、子どもたちにとって図書室が「つい行きたくなる、身近な場所」になっていることが数字からもはっきりと見えてきます。

◆本が「好き」な北っ子がぐんぐん増加中！

「本を読むのが好きですか？」という質問では、特に高学年の変化に驚かされました。